

2021年5月19日

鹿児島大学病院 消化器内科 で
「かゆみ」の問診を受けた患者さんへ
(医学系研究に関する情報)

鹿児島大学病院消化器内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

慢性肝疾患患者における皮膚掻痒症の臨床的特徴に関する研究

【研究機関】

鹿児島大学病院 消化器センター 消化器内科

【研究責任者】

鹿児島大学病院 消化器センター 消化器内科 教授 井戸 章雄

【研究の目的】

慢性肝疾患をお持ちの患者さんの自覚症状として、その頻度順に「身体がだるい」25.5%、「体力が弱ってきている」22.9%、「皮膚がかゆい」22.4%と報告されており、痒みは3番目に多い、頻度の高い症状ですが、実際は肝疾患と痒みの関連が認知されていないことが多く、「かゆみ」を我慢することで生活の質を落としてしまっている患者さんが多くいらっしゃるのが現状です。

本研究では、慢性肝疾患をお持ちの患者さんのうち、「かゆみ」の問診票で痒みの程度、頻度、治療介入の有無等に関してご回答いただいた方において、

慢性肝疾患の皮膚掻痒症の実態の把握と検査値との関連を解析し、肝疾患の患者さんの生活の質の改善に役立てることを目的としています。

【研究の方法】

慢性肝疾患と診断され、「かゆみ」の症状に関する問診にご回答いただいた患者さんにおいて、診療録（カルテ）から性別や年齢、身長・体重、疾患名、治療内容、治療後の経過のデータ、外来診療時の検査データ（血液検査結果、腹部超音波検査所見、肝硬度測定結果）を収集し、それらのデータとかゆみの症状に関して、それぞれの関連性を調べていきます。

【対象となる患者さん】

2016年4月1日から2026年3月31日までに鹿児島大学病院消化器内科で慢性肝疾患と診断され、「かゆみ」の問診を受けた患者さんを対象にしています。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

性別や年齢、身長・体重、疾患名、治療内容や治療後の経過、さらに外来診療時の検査データ（血液検査結果、腹部超音波検査所見、肝硬度測定結果）を集積・活用します。鹿児島大学病院消化器内科 教授 井戸章雄が上記の情報を利用し、試料・情報の管理について責任を有します。

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や生年月日など、患者さんを直接特定できる個人情報を匿名化します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学消化器疾患・生活習慣病学の研究費（使途特定寄附金）

で実施します。この研究は、研究者が独自に計画し実施します。企業等の第三者機関から資金提供や労務提供は受けていないので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 肝疾患相談センター

特任助教 小田 耕平

電話 099-275-5326 FAX 099-264-3504